

雜載

〔青標紙三編〕御旗本三千石寄合席ニ而、先祖之本國ニ今以テ采知領分有之ハ、能勢熊之助、本國攝津ニ而、知行同國能勢郡ニ有之、又此知行所村内ニ、安徳天皇行在所ニ成たる趣棟札の出たる農家あり、此能勢氏ハ世人の知れる狐除黒札を出す家にて、向柳原藤堂家の隣家に邸宅有之、四千八石の差出高にて、近江伊勢にも飛知有之事、今一ツハ石川左金吾なり、左金吾ハ三千石にて、知行ハ河内國石川郡を領す、石川氏の本國ハ河内なり、然るに同性澤山あれども、此左金吾の家に限り、先祖の本國を領する事冥加なるべし、今一は朽木彌一郎の家ニ而、彌一郎六千石、知行近江なり、同龜六も三千石にて、近江を領す、朽木氏の本國近江なれども、大名の朽木ハ却て領知三万五千石、丹波福知山の城主なり、交代寄合朽木兵庫介も領知近江にあり、今一軒ハ中坊陽之助也、中坊先祖ハ南都興福寺坊中の衆徒なり、故に本國ハ大和なるに、今以知行同國吉野郡にあり、四千石の高なり、又其一ハ大島帶刀也、本國美濃にて、知行美濃にあり、今一軒ハ加藤平内、本國美濃ニ而、知行所同國ニアリ、甲斐庄喜右衛門、本國河内ニ而、領分同國に有之、遠山左京六千五百石餘、美濃に有之、是又本國ハ美濃なり、苗木城主遠山信濃守又然り、戸川一家、蒔田家、水谷主水、何れも本國にはあらざれども、知行所備中にあり、池田家、淺野家、何れも播磨に領知有之、秋月金次郎、高三千石、本國日向ニ而、知行所今以而日向に有之候、大名の秋月も、同國高鍋の城主也、

青木孫太郎、本國美濃ニ而、五千石の知行美濃に有之、妻木平四郎、三千石、右同斷

佐藤金之丞、三千石、又同じ

佐野欽六郎、四千石、同龜五郎、三千五百石なり、本國下野にて、兩家ともニ下野を領知せり、